

第 1 回 恵庭創生懇談会

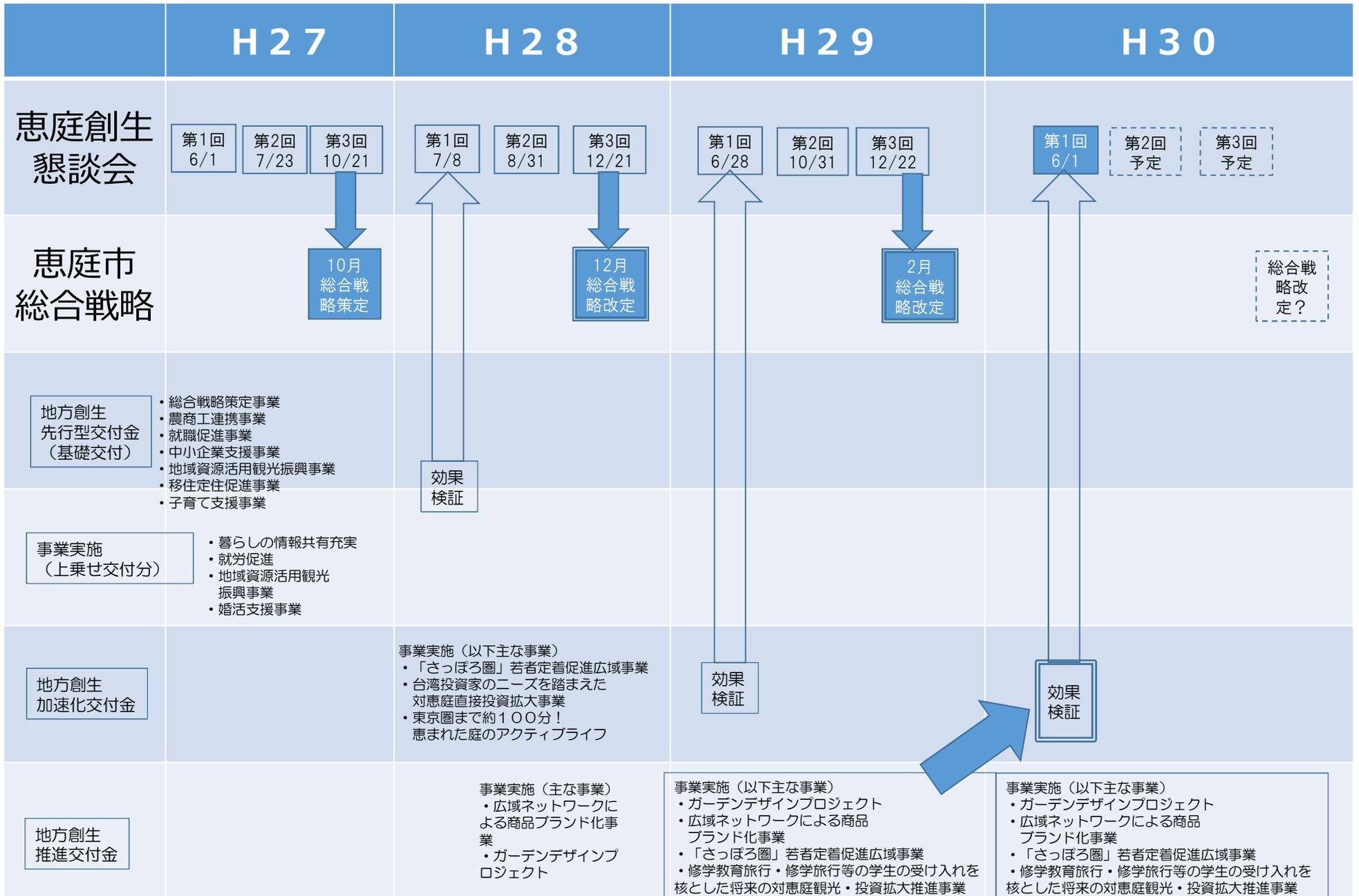
日 時 平成 30 年 6 月 1 日 (金) 午前 10 時 00 分～
会 場 えにあす 1 階 会議室 4 (緑町 2 丁目 1-1)

次 第

1. 開催あいさつ
2. 市長あいさつ
3. 恵庭市総合戦略と恵庭創生懇談会について
4. 恵庭創生懇談会委員あいさつ
5. 座長選任
6. 議 事
 - (1) 平成 29 年度地方創生推進交付金効果検証について
(資料 1)
 - (2) 平成 30 年度地方創生推進交付金採択状況について
(資料 2)
 - (3) 官民連携によるガーデンデザインプロジェクトの概要について (資料 3)
 - (4) その他(今後に向けての総合戦略改定についての意見)
7. その他

恵庭市総合戦略と恵庭創生懇談会の関係について

H30.6.1 (金)
恵庭市企画課



平成29年度地方創生推進交付金効果検証について

1. 平成29年度地方創生推進交付金事業実績一覧

(1) 地方創生推進交付金(補助率 1/2) 60,640,225 円

① 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト	
・子どもの生活学習支援	3,000,000 円
・移住促進事業	4,546,174 円
・花観光推進事業	11,086,994 円
② 広域ネットワークによる商品ブランド化事業	
・商品ブランド化事業	11,234,056 円
③ 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業	
・就職促進事業	3,999,999 円
・起業支援事業	734,870 円
④ 修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした 将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業	
・商談会・商材開発等	26,038,132 円

事業の詳細については裏面 P1～P7 を参照願います。

1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

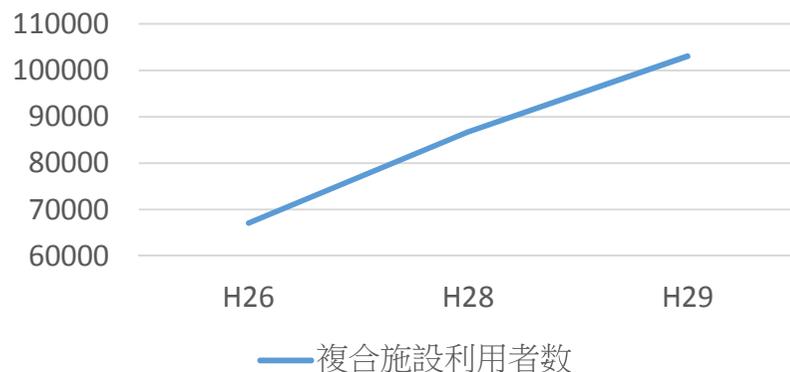
子ども家庭課

地域の大人が、生活に様々な困難を抱える小・中学生を対象に基本的な生活習慣の習得や学習支援、食事の提供等を行う「地域の居場所づくり」を進め、子どもの生活向上を図った

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H29)	KPI目標値
複合施設利用者数	103,020人	80,000人

複合施設利用者数の推移



担当コメント

生活をするうえで様々な困難を抱える子どもたちが、自主的に勉強や課題に向き合い、積極的に配膳等を行っています。

普段、家族や学校などの限られた人間関係の中で生活している子ども達にとって、地域の大人や高齢者と学習や食事をする居場所として有効であると感じました。

取組事例

子どもの生活・学習支援事業

子どもの生活・学習支援

○主な取組

- ・週に1回、地域施設で実施。
- ・地域に住む退職教員や高齢者が生活習慣習得のための支援や学習支援を実施。
- ・地域の人が集まり手作りの食事を子ども達に提供。

○主な成果

- ・週に1回、児童・生徒が放課後に地域の施設に集まり、退職教員等の支援を受けて勉強に取り組んでいます。また、学習後には、栄養バランスのとれた手作りの温かい食事を皆でとることで、配膳等の生活習慣の習得や、偏食気味の食生活の改善に繋がっています。
- ・利用する児童・生徒の地域で過ごす居場所として機能しています。



1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

まちづくり推進課

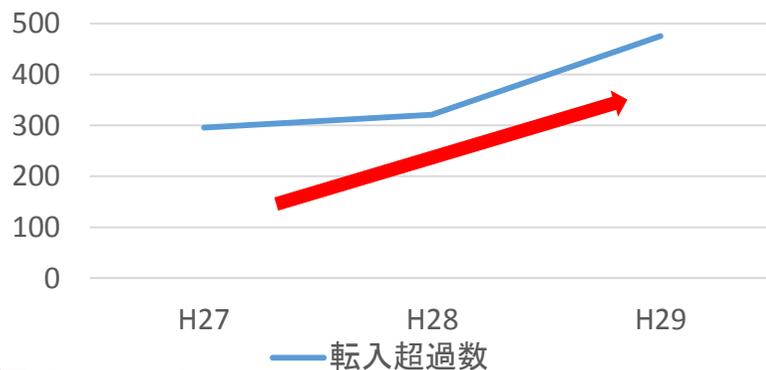
近隣市町村と連携し、移住相談会を実施した。また、恵庭市内の求人情報の情報収集及び発信、中央バス車内での移住映像広告の実施、大阪梅田での移住パンフレットの配置など移住者を増加させるべく、恵庭市についての情報発信を行った

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H29)	KPI目標値
転入超過数(転入者数-転出者数)	475人	156人

平成28年度より移住者希望者向けに恵庭市内をご案内するオーダーメイドツアーを実施。17組案内中4組が恵庭市へ移住

転入超過数の推移



担当コメント

移住相談会の実施や移住希望者を対象として恵庭市内のご案内を行うオーダーメイドツアーの実施(平成28年度から17組実施、内4組が恵庭市へ移住)、ノースガーデン恵み野などの新規住宅地の開発等総合的な取り組みから恵庭市への転入者が増加しているものと思われる。

今後においても個々のニーズに応じた移住促進施策、新規住宅地の開発や既存住宅の流通促進などが転入者の増加に繋がるものと思われる。

取組事例

移住促進事業

移住相談会の実施

- 主な取組
 - ・本気の移住相談会
 - ・千歳市×恵庭市合同移住相談会
 - ・北海道暮らしフェア(大阪・名古屋)
 - ・さっぽろ圏移住相談会・さっぽろ圏移住フェア
- 主な成果
 - ・本気の移住相談会: 30組が参加(2組移住)
 - ・千歳市×恵庭市合同移住相談会: 14組が参加(1組移住)
 - ・北海道暮らしフェア: 41組が参加(1組移住予定)
 - ・さっぽろ圏移住相談会・さっぽろ圏移住フェア: 27組が参加



恵庭市への移住に関する情報発信

- 主な取組
 - ・中央バス車内映像広告の実施
 - ・大阪梅田に恵庭市のポスター掲示及び移住パンフレットの配置
 - ・恵庭市移住定住サイトの運営管理
 - ・恵庭市移住者向け求人情報冊子「EniwaJobs」の作成



住み替えセミナーの実施

- 主な取組
 - ・市内老人クラブにて相続や家の流通についてのセミナーの実施(2回)
- 主な成果
 - ・2回合計で71名の参加



1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト 花と緑・観光課、拠点整備室 ~恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

市民による花のまちづくりの機運を醸成するため、コミュニティガーデンの作成、花のまちづくりプラン改定、オープンガーデン等バスツアーやシンポジウムを開催した

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H29)	KPI目標値
観光入込客数	1,351,327人	1,390,000人

観光入込客数の推移

(単位:千人)



— 観光入込客数

担当コメント

コミュニティガーデン事業については、参加者から積極的に意見を出していただいた結果、植栽や収穫をテーマにしたイベントを実施することができた。

花のまちづくりプランについては、これからの花のまちづくりをどのように進めていくべきか様々な意見を集約し、10年ぶりに改定した。今後は定期的に検証を重ね、プランを着実に推進していきたい。

取組事例

花観光推進事業

市民協働によるコミュニティガーデン推進事業

○主な取組

町内会・施設利用者・近隣住民が花壇等を通じて交流できる場を新たに設けた。

○主な成果

黄金ふれあいセンターでは、施設利用者・町内会・老人会・近隣住民の意見を聞きながら、花壇・キッチンガーデンの造成や子どもたちが安心して遊べる芝生エリアを造成した。



市民による花のまちづくりプラン改定

○主な取組

市民主導による花のまちづくりを更に推進するため、平成20年3月に完成した花のまちづくりプランを改定した。

○主な成果

市民アンケート、ワークショップを重ね、25項目の取組みを設定し、市民・行政・企業・団体がそれぞれ出来ることから着手できるプランを設定、市民に配布した。



1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト 花と緑・観光課、拠点整備室 ～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

市民による花のまちづくりの機運を醸成するため、コミュニティガーデンの作成、花のまちづくりプラン改定、オープンガーデン等バスツアーやシンポジウムを開催した

取組事例 **花観光推進事業**

市民向けオープンガーデン等バスツアー開催

- 主な取組
市民を対象に花のまち恵庭を理解してもらうため、バスツアーを開催した。
- 主な成果
親子で楽しむオープンガーデンバスツアー、教職員及び行政職を対象とした花のまち研修会、オープンガーデンを自由に散策できるようフリー乗降バスを運行したためぐみの庭めぐりを実施した。



花観光のおもてなし向上シンポジウム開催

- 主な取組
恵庭市における今後の花のまちづくり推進に向けた市民の意識向上を狙い平成30年3月17日にシンポジウムを開催した。
- 主な成果
基調講演「花とみどりのまちづくりと公園発のまちの元気づくり」及びパネルディスカッションを行い、約130名が参加した。



担当コメント

オープンガーデンバスツアーは初めて行う事業であったため、事業の進め方は手探りであったが、アンケート調査の結果、参加者が満足してくださったので、今後も引き続き開催していきたい。

シンポジウムは、全国的に著名な方を招き講演していただき、今後の恵庭市の花のまちづくりの推進に向けた市民の意識向上につなげることができた。

2. 広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業

商工労働課

藤枝市と恵庭市の連携による新たな商品開発・ブランド化を推進するため、両市事業者のマッチングを図り、連携商品の開発を支援し、販路拡大を推進した

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H29)	KPI目標値
農商工連携製品販売額	21,272千円	18,000千円
企業の引き合わせ(マッチング)件数	36件	10件
新規雇用人数	3人	1人

担当コメント

H29年度は、藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークを設立し、両市の事業者による連携を深めた。

また、マッチング商談会を両市で開催し、連携による商品開発につなげることができた。

藤枝市連携商品の開発には補助金を新設し、商品開発の支援を行った結果、5品の新商品が開発された。今後も商品開発の支援を行っていく。

3月にオープンした両市共同のネットショップの活用等による販売促進も続けていきたい

取組事例 商品ブランド化事業

マッチング商談会の開催

○主な取組

・藤枝市と恵庭市の事業者のマッチングを図るため、両市において商談会を開催。マッチング成立による新商品の開発も行われた。

マッチング機会	参加事業者数 (延べ)	商品化	試作済	補助金 活用	マッチングした が検討中
8/9 藤枝マッチング商談会	22	3	1	1	4
9/10 恵庭マッチング商談会(えにわん産業祭)	23	10	4	2	13
小計	45	13	5	3	17
8/20-22 飲食店店主訪問	5	9	-	-	-
その他紹介 (問合せによる紹介等)	3	2	1	2	-
計	53	24	6	5	17

新商品開発補助金による連携商品開発

○主な成果

・藤枝市との連携商品の開発を対象に補助金を新設。補助金を活用した5つの商品が開発された。

- ①共助のころ (抹茶を使用した玄米茶)
- ②エゾシカ肉のミートソース
(自然薯を使用したミートソース)
- ③恵にわ菓子 翡翠・君影草
(抹茶を使用した和菓子)
- ④抹茶ショコラサブレ
(抹茶を使用したお花型のショコラ サブレ)
- ⑤パラダイスロック
(藤枝産イチゴを使用した氷ミルク)



3. 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

商工労働課

北海道や近隣市町村と連携し、さっぽろ圏の若者を中心に、地元定住を目的とし、地元の企業を知り、市内での就職や起業を促進する取り組みを行った

関連数値

就職促進事業	H27	H28	H29
参加者総数	171	180	141
就職者総数	73	77	63

○起業支援事業

・平成29年度起業塾の受講生から3名が起業しているほか、起業支援補助金の利用者を含めると平成29年度中に10名が起業している。

担当コメント

就職促進事業では、業種別では求職側、求人側双方の参加者は減少傾向にありますが、昨今の景気動向などに鑑みても、良い傾向であり、一定の成果が出ているものと考えます。

有効求人倍率からも求職側を主とする事業展開はおおむね役目を終えてきております。しかしながら、ミスマッチが浮き彫りとなってきております。

このことから、今後は業種別であったり、求人側にも配慮した時代にあった事業展開を進めることで、若年者の地元定着を促進していきたいと考えます。

起業支援事業については、起業塾に参加した受講生の中から3名が起業しております。毎月開催の起業個別相談会にも一定の参加希望があることから起業への関心は高いことが伺えます。

今後も効果的な支援を継続し、市内での起業を促進したいと考えています。

取組事例

恵庭の企業のPRと就職促進

就職促進事業

○主な取組

- ・個別職業相談
- ・高校生向け就職支援セミナー
- ・女性向けPC研修付セミナー
- ・合同企業就職説明会

○主な成果

- ・個別職業相談
⇒相談回数11回 就職決定1名
- ・高校生向け就職支援セミナー
⇒受講者数44名 就職決定34名
- ・女性向けPC研修付セミナー ⇒受講者数16名 就職決定6名
- ・合同企業就職説明会 ⇒受講者数72名 就職決定22名(当日参加企業へは14名)



起業支援事業

○主な取組

- ・開業するときの様々な疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶセミナーである「恵庭起業塾」の開催。

毎月一回開催している中小企業診断士による専門的な相談が受けられる起業個別相談会の開催。

○主な成果

- ・起業塾参加人数：30名
- ・個別相談会参加人数：28名



4. 修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした 将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業

商工労働課

台湾からの訪日教育・修学旅行等学生の受入促進・拡大を行うことで、恵庭の魅力を体験してもらい、将来の訪日リピーターの拡大、さらには対恵庭投資の拡大を目的とした取り組みを行った

関連数値目標・KPI

	KPI実績値(H29)	KPI目標値
観光入込客数	1,351,327人 増加分：83,412人 (1,351,327-【H28実績】1,267,915)	30,000人 現時点(H28申請時見込み)136万人 →H29増加後139万人
インバウンドをターゲットしたツアー・サービス・コンテンツ・商品開発件数	14件	4件
訪日教育旅行・修学旅行生等を受け入れた学校・民間事業者等の数	6社	4社
新たに造成する「花の体験」と「花や地産品の販売」を組み合わせた商品の購入者数	0人	0人

担当コメント

商談会では、訪日ツアーへの市内観光施設の組み込みの検討が始まるなど、恵庭市に対し高い関心があることが伺えた。

また、教育旅行関係ではホームステイの受け入れのニーズが高いことから、今後は恵庭日台親善協会の会員を始め、市民からも広く協力をもらいながら、台湾からの教育旅行の受け入れを促進していきたい。

また、花商品・体験観光商材についても商品数の増加とともに、販路の開拓などについても取り組んでいきたい。

取組事例 商談会・商材開発等

恵庭らしさを活かした訪日教育・修学旅行のツアー造成

○主な取組

恵庭市内の観光資源の洗い出し・ブラッシュアップを行い、教育旅行生だけでなく一般観光客向けの観光ルート・周遊プランの構築を行った。その他、花をモチーフとした商品・体験商材を開発した。

○主な成果

- ・教育旅行プログラムの策定や一般観光向けツアーを17ルート造成した。
- ・地域ブランド「恵庭賛花」の立ち上げや体験観光商材の開発。

造成したツアーの広告・宣伝

○主な取組

恵庭市単独で台湾現地の旅行会社や教育団体向けの商談会を台北市にて実施し、市内の民間企業・団体も参加した。その他、現地メディアを招聘し、

○主な成果

- ・観光資源の情報発信を行った。
- ・ツアー実施に向け、現地からの問合せなどがあるほか、観光WEBサイトENIWA EYEを開設した。



モニターツアーの開催及び訪日教育・修学旅行開催に向けた受け入れ調整・マッチング

○主な取組

12月に市内高校にて、訪日教育旅行の受入を実施した。その他、台湾人留学生を対象にしたモニターツアーを実施し、コンテンツのブラッシュアップを行った。

○主な成果

- ・台湾からの修学旅行1件20名の受け入れが実現した。



(2) 平成30年度地方創生推進交付金の採択状況について

○平成30年度予算地方創生推進交付金充当予定事業の概要

一億総活躍社会の実現に向けて、ローカルアベノミクスの推進を通じた地域の付加価値創造力強化のため、緊急に実施すべき対策として、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた先駆性のある取り組みの円滑な実施のため「地方創生推進交付金」が平成28年度に創設されたことから、恵庭市においても恵庭市総合戦略に基づき、人口減少や少子高齢化が進む社会情勢においても高い持続性を確保できるよう下記のとおり事業を実施します。

◆田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

事業名	事業費	説明(主な内容)
花の拠点整備事業	10,000	センターハウス改修設計
花観光推進事業	13,500	コミュニティガーデン作成、シンポジウム、オープンガーデンバスツアー花のガイドブック等作成
移住促進事業	5,270	ウェブサイト、就職・不動産情報、移住フェア・相談会、PR、移住後のフォローアップ、オーダーメイドツアー
えにわシティセールス事業	2,208	シティセールスプラン策定、広告宣伝
サイクルネットツアー事業	2,500	サイクルネットツアー開催事業
小計	33,478	

◆広域ネットワークによる農商工連携推進プロジェクト(藤枝市との連携)

事業名	事業費	説明(主な内容)
広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業	15,889	産業PRイベント、マッチング交流会、藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワーク負担金、新商品開発補助金等
小計	15,889	

◆「さっぽろ圏」若者定着広域連携推進事業(北海道、近隣市町との連携事業)

事業名	事業費	説明(主な内容)
就職促進事業	4,000	合同企業説明会、女性向け就職応援セミナー、企業担当者向けセミナー
起業家支援事業	834	起業支援・事業承継支援相談、起業塾
小計	4,834	

◆修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業(官民協働、政策間連携事業)

事業名	事業費	説明(主な内容)
対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業	17,700	教育旅行等受入促進事業、観光webサイト、ツアー商品web販売
小計	17,700	

地方創生推進交付金事業費合計

71,901

官民連携によるガーデンデザインプロジェクトの概要 恵庭市

● 花のヴィレッジ

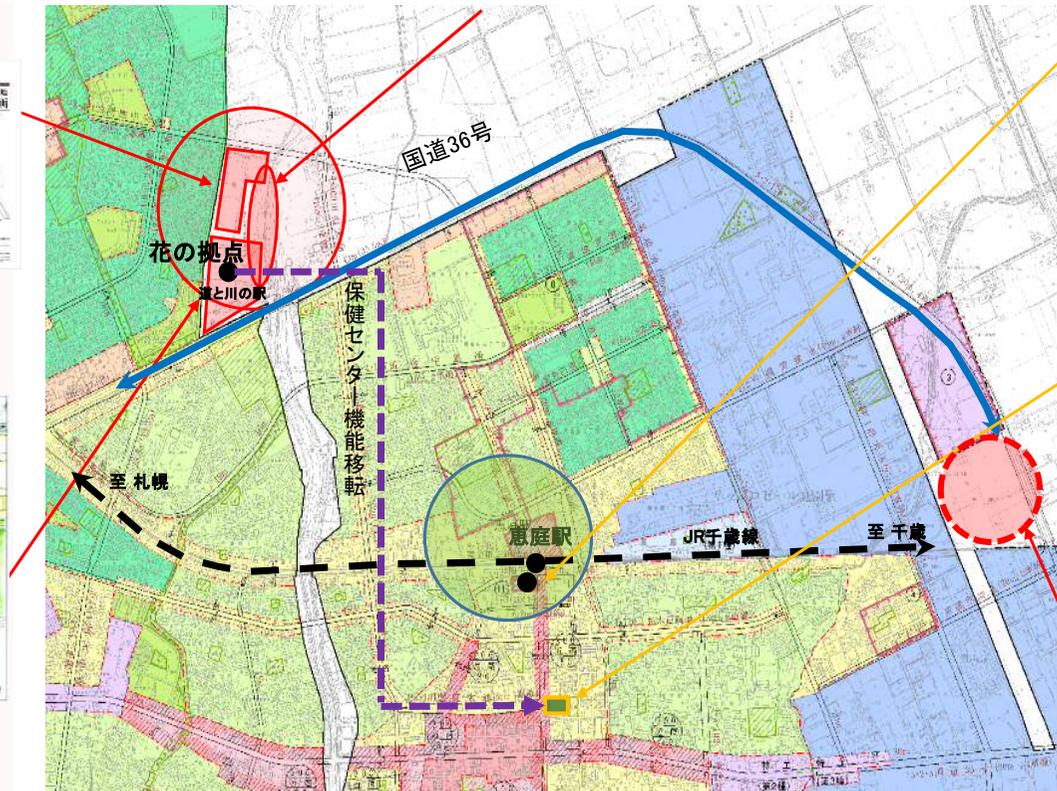


① スマートタウン
ふれる恵み野 (民間開発行為)
官民連携環境配慮型住宅団地



② 花の拠点整備

- 1) 道と川の駅エリア
 - ・サウンディング型市場調査済
- 2) センターハウスエリア
 - ・サウンディング型市場調査済
- 3) 農畜産物直売所エリア
 - ・民間建築
- 4) 管理運営主体
 - ・株式会社設立



③ かわまちづくり事業

- 1) 河川管理者(国)と連携した漁川河川空間の環境整備 (親水護岸・散策路等)



● 駅周辺の賑わいづくり



再開発ビル (既設)



④ えにあすの整備 (緑と語らいの広場)

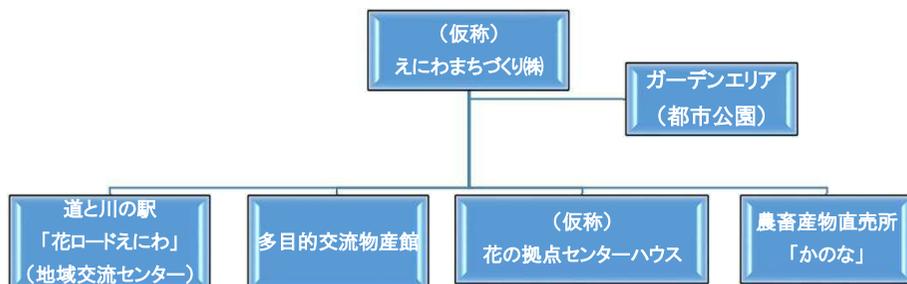
保健センター機能の移転にあわせ、健康増進施設・図書館等の複合施設を民間活力により整備 (2018年4月供用開始)

● 工業団地の用途拡大

⑤ 新工業団地整備

組合施行による土地区画整理事業 (民間投資の呼び込み)

【花の拠点全体の運営イメージ】



区分	2018年度	2019年度	2020年度	官民連携の手法
①住宅団地整備	造成・販売・建築	販売・建築	販売・建築	民間事業者によるスマートタウン型の宅地開発行為
②花の拠点整備				
1)道の駅エリア	事業者公募、選定等	工事等	供用開始	民間事業者事業提案による管理運営と整備
2)センターハウスエリア	事業者公募、選定、設計等	改修工事	供用開始	既存建物転用による民間事業者提案と管理運営及び整備(一部公園PFD)
3)農畜産物直売所エリア	設計他	工事等	供用開始	民間事業者による管理運営(民間建設)
4)管理運営主体	準備組織立ち上げ・協議	(株)設立手続	本格業務開始	地元主体のまちづくり会社設立による管理運営(指定管理者制度)
③かわまちづくり事業	設計協議工事他	工事	工事	※国と市が連携した計画による施設整備
④えにあす整備	供用開始			市有地の定期借地権による民間建設(官民連携複合施設)
⑤新工業団地整備	法手続き・協議他	造成工事	販売開始	民間事業者の業務代行方式による土地区画整理事業